

令和5年度前期選定 後代検定種雄牛

後代検定種雄牛「雅光久」は、産肉能力を調査するため、(株)アニマルジェネティックスジャパンにより、現場後代検定調査牛を生産する調整交配が実施されます。この現場後代検定において優秀な成績を収め選抜されると、全国の畜産農家へ凍結精液が供給されます。

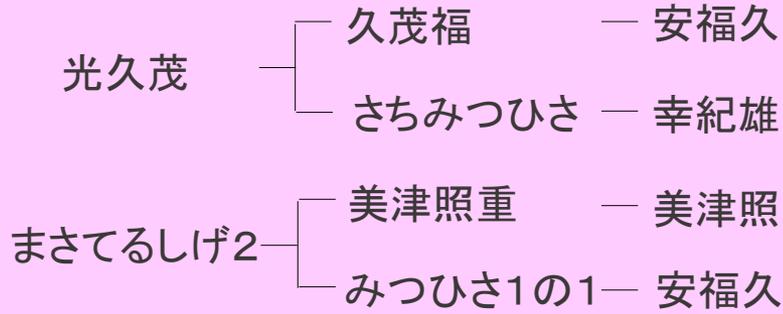


まさ みつ ひさ
雅 光 久

登録番号 2022子受卵鳥黒7203

生年月日 令和4年3月18日

個体識別番号 13932-6636-3



母「まさてるしげ2」は産子枝肉成績において、BMSNo.が10以上となる枝肉を多く生産しており、当センターで繋養している繁殖雌牛の中ではトップの育種価評価を受けています。また、父「光久茂」は脂肪交雑、ロース芯面積及び歩留基準値におけるゲノミック育種価が極めて高くなっています。

このような血統的背景をもつ本牛は、ロース芯面積、歩留基準値、BMSNo.のゲノミック育種価が非常に高いことに加えて、直接検定終了時の得点が84.2点と高く、兵庫系統の特徴である資質はもとより、体積や体伸に優れ、他系統に見劣りしない体型をしており、肉質及び肉量のバランスが取れた牛肉生産への貢献が大いに期待されます。さらに本牛は、種牛性に優れ、性格も温厚であることから、繁殖雌牛の改良にも貢献できる後代検定種雄牛です。